

歯と口の健康に関心を持ち、自分の課題を見つけ、  
進んで健康な生活を送ろうとする子の育成  
～歯と口を大切に歯っぴ～になろう～  
石川県 金沢市立西小学校



### 研究のねらい

本校の学校教育目標「生きる力を身につけ、可能性を追究する児童」を育成するために、「歯と口の健康づくり」を入り口として、まず自分の体に関心を持ち、課題を見つけ、進んで健康づくりに取り組む活動を経験することで、いきいきと活動できる児童の育成を図ろうと考えた。

### 授業づくり部会

課題意識を持ち、自分の取組目標を見つける



#### ☆授業の重点

- ①解決したくなる課題の設定（つかむ）
- ②主体的に考える場の工夫（さぐる）
- ③友だちと交流して解決策を考える（見つける）
- ④自分の生活に活かせる実践目標（決める）

### 日常部会

学んだことに進んで取り組み、周りに広める



- ①実践を強化・継続する場の設定  
「歯みがきタイム」「かみかみタイム」等
- ②広める工夫  
児童会活動による「健康クイズ大会」  
ホームページ 歯っぴ～す（通信）  
校内掲示物



### 家庭・地域との連携

- ①家庭と連携した学びの場  
・親子クッキング ・授業参観 ・学校保健委員会
- ②地域との連携  
・地域人材との連携（学校歯科医・栄養教諭・歯科衛生士）
- ③生活習慣の定着  
・歯みがきカレンダー ・親子歯みがきチェック

### 成果と課題

歯みがきの取り組みでは「以前よりも進んでみがいていた」「言われなくても歯をみがけるようになった」など、児童の変容が見られた。一方、保護者の健康に対する意識は変化が少なく、今後、保護者とどのように連携して子どもの健康づくりに協力してもらうか工夫していくことが課題である。